

## VINEYARD DATA

●主な栽培品種：ピノ・グリ、シャルドネ、ピノ・ノワール、ガメイ、  
パカス、ソーヴィニヨン・ブラン等25品種

●生産本数：700本(初年度)

●栽培面積：3.5ha ●ファーストヴィンテージ：2021年

●ラインナップ：ベティアン・ナチュール

●購入方法：2023年現在、数量が限られているため、チーム・フィールド・  
ノート会員先行で販売しています。購入方法につきましては、ココ・ファーム・  
ワイナリーに電話かFAXまたはメールでお問合せください。

### 株式会社ことある

所 北海道岩見沢市栗沢町茂世丑1657

☎ 0284-42-1194 ☎ 0284-42-2166

✉ office-m@cocowine.com

HP <https://cocowinshop.com/SHOP/RDB-3958.html>

※連絡先は全てココ・ファーム・ワイナリーのものです

2022  
ベツナット・モウ  
/750ml



## ブドウ主体の 柔軟なワイン造り



栽培担当のロマン・  
ヴァインシュ  
トックさん(右)と  
川野寛さん(左)

## ヴィンヤード・モウ

*Vinyard moo*

栃 木県にある「ココ・ファーム・ワイナリー」のロマン・ヴァインシュトックさんが、栗沢町茂世丑にココ・ファームのブドウ畑の開墾を始めたのは2017年。10Rワイナリーのブルースガットラブさんの薦めでした。翌年には同じく栽培担当の川野寛さんが加わり、少しずつ栽培面積を増やしています。今は、土地とブドウの適正を検証するため、25品種ほどのブドウを植えて試しているところだそうです。2021年、樹齢3年のブドウの樹から初めて収穫し醸造したワインがファーストヴィンテージでした。「美味しいワインをシンプルに造るには、まずは土地とブドウの相性を見極めることが大切」とロマンさんは話します。自分たちが主体ではなく、ブドウの声を聴き、あくまでブドウに合わせていく栽培の姿勢は柔軟で、土地やブドウを尊重するお二人の想いが伝わってきます。

## VINEYARD DATA

畑の見学

●主な栽培品種：ピノ・ノワール

●生産本数：約2,000本/年 ●栽培面積：約1ha

●ファーストヴィンテージ：2015年

●ラインナップ：イレンカ・ピノ・ノワール/750ml

●購入方法：HPよりご確認ください

### 合同会社イレンカ

所 北海道岩見沢市栗沢町上幌

☎ 要問合せ

☎ 080-5528-6936

✉ info@irenka.co.jp

HP <http://irenka.co.jp/>

ピノ・ノワールと  
永井さん



<イレンカ・ピノ・ノワール/750ml>



## ピノ・ノワールの奥深い魅力と 空知のテロワールを 感じるワイン



## イレンカヴィンヤード

*Irenka Vineyard*

アイレンカとは、アイヌ語で理想・希望の意。自らの手で健全で美しいブドウを育て、理想のピノ・ノワールワインを造りたい、そんな希望を叶えるべく、2012年に永井邦代さんは北海道岩見沢市栗沢町上幌地区でブドウ栽培を始めました。イレンカが目指すのは、「スロー・フード」と考えを同じくする「スロー・ワイン」。「サステナブルな栽培により得られた良質なブドウから、自然が与えてくれた品種の個性と空知のテロワールが表現されたワインが生まれるよう、人の介入を最小限に、細心の注意を払って守り育てる。それが、滋味深く、理屈抜きに美味しいワインとなれば理想です」と永井さんは語ります。

## VINEYARD DATA

畑の見学

●主な栽培品種：台木5C他7種

●栽培面積：2ha

※畑の見学は事前にお問い合わせください

### 藤吉農園

所 北海道岩見沢市栗沢町上幌1124-1

✉ fujiyoshinouen@yahoo.co.jp

HP <https://www.fujiyoshinouen.com>



## 接ぎ木苗生産で ブドウ生産を支える



## 藤吉農園

*Fujiyoshi Farm*

札 幌で飲食店を営んでいた藤吉強さんが、栗沢町に新規就農したのは1994年のこと。野菜を中心に生産していましたが、隣の畑にワイナリーができたことでブドウの苗不足を知り、ブドウの接ぎ木苗の研究を始めます。気候の問題で北海道では難しいと言われるブドウの接ぎ木苗生産ですが、栗沢町で育苗の研究会を作り、近隣のブドウ生産者とともに経験を積み、少しずつ安定供給できる体制を整えてきました。藤吉さんのブドウの苗木は全てオーダーメイド。それぞれのブドウ生産者の希望に沿うような接ぎ木苗を作るのだそうです。「うちから育った苗で作ったワインは美味しいね」とワイナリーに言われるような苗木づくりをしていきたい」と藤吉さんの研究はまだまだ続きます。

### 接ぎ木とは？

根の部分となる「台木」と、花や実を付ける「穂木」の部分と接合させてひとつに繋ぎ合わせる栽培技術。苗の耐虫耐病性を高め、農産物の品質向上のために重要な技術です。